

井の口まちづくり会通信

井の口まちづくり会 設立・平成20年3月23日
 発行・令和4年12月1日・第29号通信
 責任者・小林 孝夫 (井の口まちづくり会会長)
 〒500-8018 岐阜市大仏町8 ☎058-264-2760
 事務局長・片岡 学史 1029kataoka@gmail.com
 通信作成・馬場わかよ bwakayo@sf.commuja.jp

設立15周年記念事業「お宝展」を終えて

井の口まちのお宝展vol.3

地域の皆さま、出展参加、ご協力に感謝

井の口まちづくり会会長 小林孝夫
 多くの皆さまの参加を得て、井の口まちづくり会設立15周年記念事業「お宝展 vol.3」を開催いたしました。準備を含め、ご協力いただいた全ての方々に厚く御礼申し上げます。

各会場では地域の方々の作品やコレクションなどジャンルを超えた出品とともに井の口エリアに関する様々な情報も展示させていただきました。また、コンサート、寄席も取り入れて開催することができ本場に多くの皆さまにご支援をいただきました。裏面に二日間の内容を簡潔に報告させていただきました。広範な内容だけに、どの会場も時間が少ない中で設営でしたが地域の皆さまのお力添えに感謝しかありません。ありがとうございました。

お宝展開催に先立ち、中学生ボランティアを含めた多くのスタッフがススキ採りで汗を流し、エリア内60カ所余に配布しました。毎年恒例の事業ですが今年初めて中学生に参加していただきました。十三夜を愛でる日本の文化を後世に繋げるものとなりましたし、井の口お宝展会場に色を添えることができました。ボランティアの皆さまにも感謝申し上げます。



「井の口の特別なまち巡り」案内人さんが応募の参加者をご案内(妙照寺にて)

●ススキ採りに中学生ボランティア10月8日「まちなかお月見アート」のススキの準備に、中央中学校の生徒がボランティア参加してくることにになり、9時から川原でススキを採る作業に男女6人が参加。午後からは、エリア内にススキを配布する作業に女子2人が手伝ってくれました。

●まち巡りの案内役を急ぎよお願い「特別なまち巡り」の案内役は、当会会員でヘテランまちなか案内人の塚原、後藤両氏をお願いしていましたが、開催間近に後藤さんが足の骨折というアクシデント。快く代わりをボランティアで引き受けてくださいました高橋様、大野様に感謝いたします。

●5年前に引き続き創作紙芝居上演 今回のために新作「なの花姫と龍の巻」を描き上げた山田さん。語りには奥様と一緒に友達が加わりました。

●古いコーナールの見物は当会へ寄付 市生涯学習センターで学んでいる東洋易学同友会の皆さんから2日間の見料をすべて寄付していただきました。



ススキを採る中央中学校の生徒さんたち



ぎふチャンネルの生放送へPR隊(9月20日)

令和4年
10/9
~10
(日・祝)

令和4年度前期・各部会活動報告

まちなかアート部会

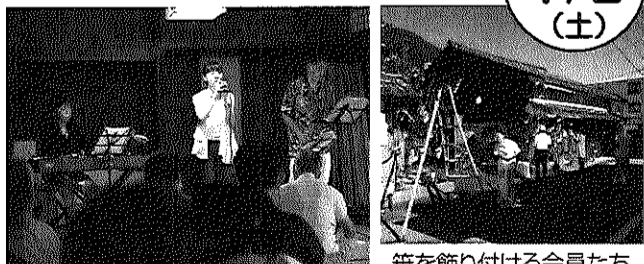
七タコンサート

令和4年
7/2
(土)

夕闇迫る金華山・岐阜城を背景に、今年も般若寺にて七タコンサートを開催しました。山門には会員手づくりの七夕の笹飾り、参道には竹筒のキャンドルを灯し、来場者を温かく迎えました。

今年も、般若寺住職の音楽仲間「中川ワールド」の3人をお迎えし、ジャズと歌の夕べを楽しみました。

この行事も井の口の夏の風物詩として定着し、楽しみにされるようになり、当日の来場者は68名でした。(伊藤逸夫)



笹を飾り付ける会員たち

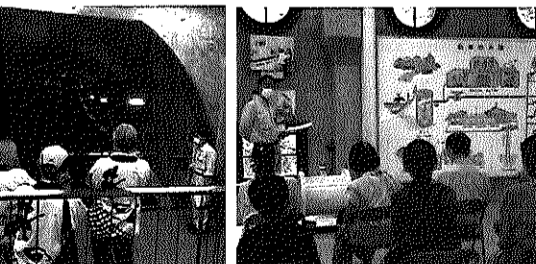
まちの歴史探索部会

鏡岩水源配水池見学会

令和4年
9/17
(土)

井の口への水の供給元であり、長良川の伏流水を取水し金華山をくり抜いて造られた大きな配水池に貯め、その高低差を利用して市内へ水を供給する全国的にも例を見ない方式の鏡岩水源配水池見学会を開催しました。

1歳から12歳のチビっ子6名を含む54名に参加いただき、施設説明の後、配水池まで続く上りの地下トンネルで金華山の地下空間を体感しました。見学会開催に際し、岐阜市上下水道施設課のご協力に感謝申し上げます。(岩佐純二)



大仏様への年賀状受付開始

今年も年賀状の季節がやってきました。毎年、干支や縁起物を手描きや版画、手づくりの年賀状にされる方、また、コンピュータで写真などを使って制作される方、その年賀状の中の1枚を、このまちの慈悲あふれる金ピカの大仏様に、感謝や挨拶、抱負の言葉を添えて投函してみませんか?

大仏様へ旧年の感謝と新年のご挨拶
 受付期間：12月12日～R5年1月10日
 投函場所：大仏殿入口、メディアコスモス2階 中央図書館、JRI岐阜駅2階アクティブGふれあい広場
 年賀郵便：〒500-8018 岐阜市大仏町8 岐阜大仏様宛

大仏様への年賀状展

日時：R5年1月13日(金)～15日(日) 10時～17時(最終日16時まで)
 会場：正法寺庫裡(岐阜大仏殿・大仏町)
 ※出展者が年賀状展に来場されると大仏殿拝観券を進呈
 ※年賀状はその後、1月17日～29日・アクティブG、1月30日～2月5日・につけん多機能ホーム今町で展示します。

大衆食堂

平日 11:30～14:00
 土・祝 11:00～14:00
 夜 17:00～19:30
 日曜休み、祝日は昼のみ

東亭食堂
 電話 058-263-3079

まちなかお宝アート発見
昔ながらの味、東亭食堂

青いのれんが掛かる赤い階段を上ると、白木の引き戸。ここは今町3丁目にある昔ながらのまちの食堂です。東亭食堂の創業は明治20年代といい、大正、昭和、平成を経て、現在の村井行雄さんは4代目。亡き先代は80歳で病に倒れるまで鍋を握り、お母さまは90歳になるいまも時々お店に顔を出されるそう、行雄さんと妻の桂子さんのお二人で店を切り盛りしています。

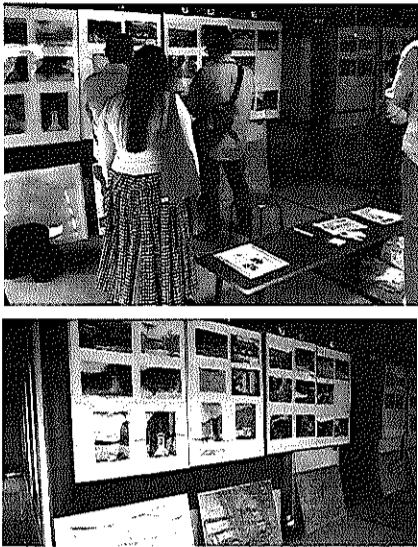
創業時は、道向かいの味噌屋の隣りに店を構えていて、この場所に移ってからは2階が店舗。そのため、高齢の方からは「お店に食べに行きたいけれど階段が上がれなくて」と言われることも。時間が掛かっても待っていただけのなら出前もしていただけるそうです。

お勧めは、昔ながらの懐かしい味を守る中華そば480円とカツ丼680円。カツ丼といえば、2017年の11月に『ぐっさん』がテレビ取材で来て、カツ丼を「美味しい」とほおばったその日から、お客さまの層が変わったと桂子さんが言います。若い人がスマホで検索してカツ丼を食べに来られるようになりました。久しぶりに食べる人には懐かしさ、遠方からの若い人には少しのレトロ感。そして、地域の方にはいまも変わらず愛される味です。(馬場わかよ)

井の口まちづくり会設立15周年記念事業 10月9日(日)・10日(祝)

「井の口まちのお宝展」vol.3 各会場活動報告

般若寺 会場

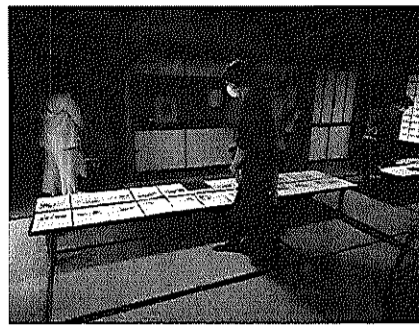


井の口今昔写真展 井の口ゆかりの古地図展

般若寺会場では、関ヶ原の戦いの前哨戦である岐阜城攻防の様子を描いた絵地図を含め数枚の江戸時代の絵地図、明治時代以降の精密な地図などの古地図の展示と岐阜公園、路面電車、長良川の変遷がわかる昔の写真の展示を行いました。

会場に来てくださった皆さんはゆっくりと熱心に見学されていました。写真のパネルには付箋にコメントを書き添えてくださる方もありました。公園の写真へのコメントがもっとも多く、動物のいた時代を懐かしんでいらっしゃいました。(加野直巳)
まちの歴史探索部会 担当:岩佐・加野

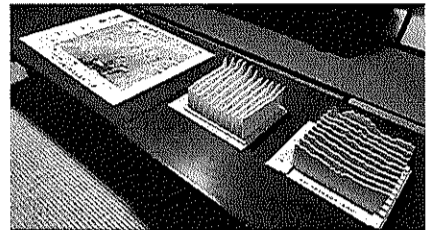
正法寺 会場



まちの文化的建造物顕彰30記念展 井の口地形高低差展・わたしのお宝展

会場には、画家の絵画作品4点、地元の旧家から著名な書軸を数点、金華在住で昭和初期に描かれた金華スケッチ画23点、ギャラリーオーナーのコレクション数点など。また、井の口まちづくり会から顕彰された町家等30戸の写真と所見を掲示しました。町家は年度内に冊子にまとめる予定です。

まちの風景検討部会長の名和さんが国土地理院のデータを基にエリア内の高低差を立体化した模型を製作展示しました。山裾の河川が存在が想像できます。(小林孝夫)
まちの風景検討部会 担当:名和・小林



わいわいハウス金華 会場 わたしのお宝展・懐かしのものたち展

今回、初めてわいわいハウス金華会場をお借りして開催し、懐かしのものたちと題して、皆さまから貴重な収集品をたくさん出展いただきました。多くの方に楽しんで鑑賞してもらうためにブース別にして展示し、来場して見ていただいた方たちには好評でした。しかし、もっと地元の人の参加を促していきたいと思いました。(後藤勝利)
まちなかアート部会 担当:伊藤・後藤・鈴木



貴重な収集品の数々(古仏、コイン、切手、箱根関所の古文書、故吉田好成氏の野球人生写真集など)を展示した会場

につけん多機能ホーム今町 会場

今町3丁目にある「多機能ホーム今町」を会場に開催しました。わたしの宝もの展では、地域在住の皆さんや地区外の会員さんが作られた吊し雛や人形、塗り絵、それに切り絵のコレクションなど、バラエティに富んだ数十点の作品を展示しました。また、会場では手描きの創作紙芝居も上演され、童心に返って楽しむ様子が見られました。2日間の期間中、合わせて約100人もの方々にご来場いただきました。皆さん熱心に鑑賞され、作品の出来栄に驚かれる姿が印象的でした。(片岡学史)
まちなかアート部会 担当:片岡・田中

わたしの宝もの展 創作手描き紙芝居上演



ふくろう絵工房 ミニ会場 わたしのお宝展・作品展



ふくろう絵工房は、今回のお宝展を機に「ふくろうギャラリー」として開店します

この度のお宝展を記念して、20年ほど前から集めたクラフト仲間の作品や自ら作成した作品たちを、自宅を開放して展示しました。たとえば、厚手の紙を一枚一枚丁寧に貼り付けたふくろうや、木目を利用した額、さらに柿渋絵、切り絵、ウッドバーニングなど、すべてふくろう一色に飾り付けました。来場された皆さんは、興味深くご覧になり楽しんでいただけました。(伊藤逸夫)

にぎわい会場



妙照寺会館2階 学生落語寄席

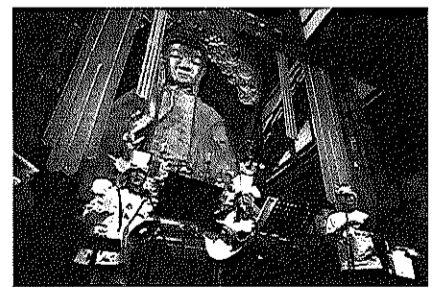
10月9日、10日の両日、各2回公演で岐阜大学、愛知大学の両落語研究会による学生落語寄席を開催しました。古典と新作の落語と漫才で、観客に向け日頃の練習成果を熱演してくれました。足をお運びいただいた皆さんに感謝いたします。(岩佐純一)

妙照寺会館1階 占いコーナー

妙照寺会館の玄関入口に机を2つ並べ、東洋易学同友会のメンバー5~8人が、手相や九星気学、姓名判断など一人ひとりに対応しました。なかには2日間ともに来られた人もあり、実践経験をわいわいと楽しくできました。(馬場わかよ)

正法寺 庭園路上ライブ

10月9日夕方18時30分から月待ちのライブを開催。あいにくの雨で月は隠れたままでしたが、大仏殿を開け放った灯りのなか大仏様の膝元で演奏。出演は、ブレンドコーヒーとそのお仲間。本当に素晴らしい歌声で、観客が少ないのが残念でした。



まちの案内人さんと行く 井の口の特別なまち巡り



案内人さんが展示会場でもちを説明

実施できたのは9日の3コースと10日の1コースで、このまちの歴史に関心がある参加者を連れて案内しました。常在寺、妙照寺、正法寺と定番のコースにまちづくり会の展示会場巡りが加わり、古地図や古くて懐かしいものたちなど、見たこともないものに触れることができました。まちづくり会の皆さんと地域の人々が一致団結して行うイベント。すごいことだと感じます。(塚原紀好)

事務局だより

●事務局長 片岡 学史

本紙で特集されているように、会設立15周年記念事業が開催された。作品やお宝の展示、学生落語会、まち巡りといったイベントで地域の皆さんを出迎えた。天候に恵まれなかったが、2日間の会期中、多くの方が訪れ楽しんでくれた。

作品を出品してくださった方や、会場を提供してくださった方、そしてイベントに参加してくださった沢山の方々のご協力のもと、無事イベントを終えることができた。ありがとうございました。

一方で課題も残る。全体として若者の参加が少なく、世代間交流が図れなかった点だ。課題をしっかりと洗い出し、「老若男女が住みたいと思えるまちづくり」という本会の活動目標の達成を目指して、今後もより一層前へと進んでいきたい。

●広報通信部会長 馬場わかよ
今回の設立記念イベントは、長期間かけて実行委員会準備を進めてきましたが、当日はお天気に恵まれず、他所のイベントなども多数開催されていて、また、地域の皆さまの関心も低いまま、来場者は5年前に遠く及びませんでした。とはいえ、この井の口まちのお宝展事業から、まちづくり会に参加してくれた新人がいます。今町3丁目の田中敏晴さんです。当会は、高齢化のもと人手不足は深刻で、次世代への引き継ぎを見据えると、もっと多くの若し世代に興味を持っていただけたらと思います。このまちを愛する方々バトンをもちついでください。